

思春期の自死予防を考えるセミナー

「死にたい、助けて」宛先のない叫びに宛先を作る

～私達に今、できることを考える～

思春期というライフステージは、急激な心身の発達がみられると同時に悩みが多くなっていく年代でもあります。しかし、中学生や高校生の子どもたちは、悩みが自分一人では抱えられない程大きくなったとしても、周囲の人になかなか相談しないという傾向があります。自分の心身の状況に応じたセルフケアの方法や適切な SOS の出し方を子どもたちに学んでもらうと同時に、周囲が子どもたちの SOS に気づき受け止める力を向上させることも必要です。

そこで、みやぎこころのデザイン教育実行委員会 (SCOPE) では、この度、伊藤次郎氏 (NPO 法人 OVA 代表理事) を講師にお迎えして研修会を企画いたしました。マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者にアウトリーチしようと「インターネット・ゲートキーパー (通称: 夜回り 2.0)」の手法を開発・実施されている伊藤氏と共に、参加者のみなさまとディスカッションしながら、これからの学校教育におけるメンタルヘルスリテラシー教育のあり方や子どもたちの SOS をいかに見つけるかについて考えていきたいと思っております。

日 時 平成30年2月12日 (月・祝)
13:00 ～ 16:30 (受付12:30～)
第一部: 講演 / 第二部: グループワーク

場 所 あしなが育英会仙台レインボーハウス
(仙台市仙台市青葉区五橋2丁目1-15)
*外履きを脱いでご利用いただく施設です。
季節柄、足元が冷えますので、スリッパをご持参ください。

参加費 無料 (テキスト含)
対 象 教育関係者・精神保健関係者・学生等
興味関心がある方

定 員 50名 (先着順)
申込方法 申込書にご記入の上 FAX かメールにてお申込下さい

F A X 022-762-5853

メール info@npo-switch.org

申込締切 平成30年2月7日 (水)



講 師
NPO法人OVA
代表理事伊藤 次郎氏

主催: みやぎこころのデザイン教育実行委員会 (SCOPE: School Outreach for Psychological Education)

